

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

慈光照護のもと、門信徒のみなさまにはますますご清栄のことと慶賀に存じます。

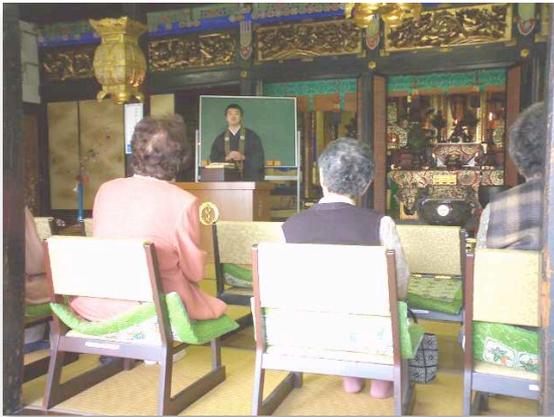
さて、去る10月16日と17日に当山の報恩講を無事に終えることができました。ご参拝いただいたご門徒の皆様、共にお念仏を喜ばせていただいて有り難く存じます。奥田先生のご法話もいただき、お浄土という世界が迷いの世、五濁悪世に生きている私たちに、いかに必要な世界であるかをわかりやすく教えていただきました。

現代はいじめが大きな社会問題になり、それによってあまりにも多くの子供たちが自ら死を選んでいきます。子供たちばかりではありません。日本では昨年1年間になんと3万2千人以上の方が自死されておられます。多くの方が救いを求めているのです。浄土真宗のみ教えは亡くなった方のためではありません。今を生きている私たちのためにあるのです。「お寺にはおばあちゃんがお参りしているからいいや」ではないのです。今月には御正忌が厳修されます。夜のお座には毎年恒例の『ぜんざい』が振る舞わ

れます。また、親鸞聖人のご生涯の行蹟を第三代宗主覚如上人がまとめられた『御伝鈔』下巻も拝読されます。このご法縁を大切にしてください。みなさまお誘い合わせの上ぜひお参りくださいますようお願い申し上げます。

なお、来年1月9日～16日には京都の西本願寺にて御正忌報恩講がおつとまりになります。末寺での御正忌が年内に行われるのも、1月には本山に参つてくれよとの意味があるのです。皆様にもぜひお勧めします。

左の写真は当山報恩講のもので、下の写真は同時開催しました梶洋品店の梶照子様の人形展の模様です。お陰さまでたくさんの方から「かわいい」「素敵だ」と喜んでいただきました。ありがとうございました。



奥田先生の御法話をお聴聞される参拝者の皆様



■梶照子様作品展より■
いつもの本堂とは違って、とても華やかになりました。

あまり綺麗だったので今回は奮発してカラー印刷です！



